

エコ・フラッシャーを利用すれば

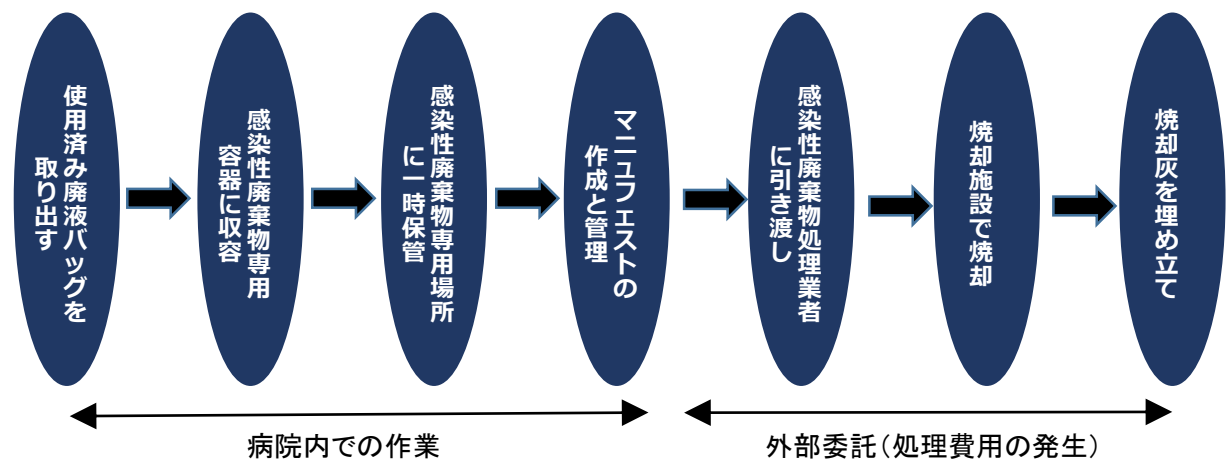
吸引廃液を簡単・清潔に院内処理する製品を生み出すことができます。

熱水溶解フィルム製吸引バッグ&エコ・フラッシャー

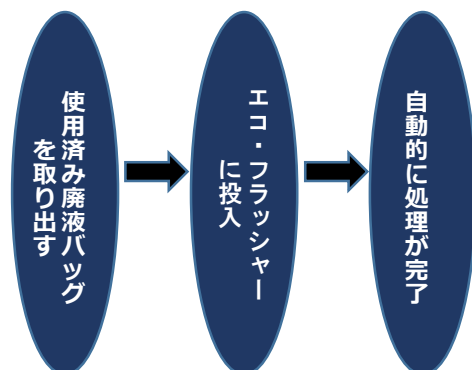
手術廃液や喀痰吸引に使用される吸引器は使い捨ての吸引バッグに廃液を貯留するタイプが主流となっています。その処理は廃液が溜まった吸引バッグをキャニスターから取り出し、感染性廃棄物用容器に収容し、病院内の感染性廃棄物専用の場所に一時保管し、マニフェストを作成の上、感染性廃棄物処理業者に引き渡されています。

吸引バッグのフィルムを熱水溶解フィルム（PVA）にすれば、廃液の処理は病院内で完了させることができ、病院スタッフの労力と委託廃棄処理コストを大幅に削減することができます。

従来の吸引バッグの処理フローチャート



熱水溶解フィルムを吸引バッグに応用



- ※ 吸引バッグをエコ・フラッシャーに投入するだけで感染性廃液の処理が病院内で完了します。
- ※ 移動・一時保管の必要がないので凝固剤が不要になります。
- ※ 非溶解性のプラスチック製の蓋は煮沸消毒済みなのでエコ・フラッシャーから取り出し、一般廃棄物として処理することができます。
- ※ 高温で溶ける水溶性プラスチックで蓋を制作すれば、エコ・フラッシャーに投入するだけですべての処理が完了します。